

一円貨募金の使いみち

東村山市独自の募金運動「一円貨募金」。お寄せいただいた募金は、東村山市社会福祉協議会を通じて下記事業へ使わせていただきます。

- 車いす利用の方、視覚に障がいのある方の通院等の送迎を行う「移送サービス事業」**
 社協の会員及びその世帯の方で外出時に常時車いす利用・視覚に障害のある方が対象
 1日4時間以内（1か月4回まで利用可能）・市内およびその周辺30km以内
- 乳酸菌飲料の配布を通じてひとり暮らし高齢者の安否確認を行う「ふれあい訪問事業」**
 身体が虚弱な方、在宅サービスをほとんど利用されていない方が対象。週3回（月・水・金）
- ひとり暮らし高齢者に定期的に電話で訪問員がお話し、孤独感の緩和を行う「ふれあい電話訪問事業」**
 ご希望日時（土日祝を除く午前9時～12時／午後1～4時）に原則週に1回電話をかけます
- 子どもや子育て家庭を応援する「標準服リユース事業」**
 市内公立中学校標準服をご寄付いただき、必要としているご家庭にお渡しします
- 「応急小口資金貸付事業」**の一つとして生活にお困りの方に食料などの支援を行う
 不測の事態で緊急かつ一時的に生活費が必要な方へ状況に応じて、資金貸付と募金の一部を活用して物資支援を実施



多発性硬化症を患ってから車いす生活のため、通院やリハビリに利用しています。移送サービスのお陰で、知人のお花見に参加することができました。また、ひとり暮らしなので付添いをボランティアさんをお願いしています。

移送サービスを利用するようになってから、ボランティアさんと知り合えたことにも感謝しています。

＜移送サービス利用者 Bさん＞

近所の人に勧められて、10年近く「ふれあい電話訪問」を利用しています。一人暮らしで故郷も遠いから、何かあった時のことを思うと、定期的に誰かと連絡を取れるのはとても安心。

訪問員さんとは、主に近況を話します。聞き上手だから、私がたくさん喋っちゃう。話をするのは健康にも良いし、今後もぜひ利用したいと思います。本当に感謝しています。ありがとうございました。

＜ふれあい電話訪問事業利用者 Sさん＞



コロナ禍、電話訪問利用者の皆さんへメッセージカードを贈りました。

事業を利用されている方の声

ふれあい訪問事業を利用できて、本当に助かっています。訪問員さんは元気のいい方で「おはようございます」「今日も元気ね！」と乳酸菌飲料を渡しながら声をかけてくれます。週3回、訪問員さんの来る日の朝はとても楽しみで、いつも戸を開けて待っているほど。ひとりで暮らすことは大変なので、若い人と話ができ、元気をもらえるのは嬉しいです。

ひとり暮らしなので、気にかけてくれる近所の方に見守られ、離れて住む家族が安心できるふれあい訪問事業を受け、皆さんに支えられて暮らしているのが有難いです。

＜ふれあい訪問事業利用者 Sさん＞

シングルマザーなのでリユース事業を利用できて良かったです。
 ＜標準服リユース事業利用者＞



ボランティア皆様のご協力いただきました



ご協力ありがとうございました。

★福祉を考える会の皆さん★

折り紙やかわいいモチーフを貼り、素敵に募金箱のデコレーションをしてくれました。

★ボラチルの皆さん★

一円貨募金応援団の「ボラチル」に広報車の音声の吹き込んでもらいました。ステキな声で市内をまわりました。ほんたくも入れたかわいい募金箱のデコレーションをして、盛り上げてくれています。



ボラチル：子ども協力員の愛称（ボランティアチルドレンの略）。ボランティアを通して、まちづくりを応援しています

募金方法

◆募金箱の設置◆

市内公民館、図書館などに市内子どもたちとボランティアの皆さんがデコレーションした募金箱を設置しています。また、募金箱を置いている福祉協力店でも募金できます。

◆町会・自治会を通して◆

各戸募金・一括募金、募金箱の設置にご協力いただいています。

◆銀行振込で◆

下記までお振込みをお願いします。

はんのうしんようきんこ ひがしむらやましてん
 飯能信用金庫 東村山支店
 ふつう 普通 0026313
 いちえんかほきんすいしんいんかい かいちょう おおはらきみこ
 一円貨募金推進委員会 会長 大原喜美子

（振込手数料はご負担ください）

一円貨募金推進委員会（社会福祉協議会内）

☎ 042-394-6333

